[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

											12 12 13 14 14 14				
事 業 名	市道改良舗装	事業(補助)			事業期間	令和	3年度 ~ —	- 年度							
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	5-1-1	他に関連する 基本事業	2-6-3					所管課係	土木課士	上木係
目的 (何のために実施する のか)	歩車道を区分し7	た整備を行い、歩	行者及び車輌の安	全かつ円滑な通行	亍を確保する 。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	率的に行う。	歩道2.5mまたは片 社会資本整備総合			が舗装と排水施設等	等を、請負工事によ	り効果的・効
対象 (誰・何を対象として いるのか)	主に幹線道路で、	二次改築を必要	とする市内路線及	び道路利用者。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	道路状況に応じた	た、効果的・効率	的な改良舗装が進	む。			
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	自家用車保有台	数の拡大などに伴・	って交通量が増大	し、幹線的な役割	を果たす市道に	こおける交通の円滑	化を図る必要が高	まってきたことだ	から、計画的に改り	良舗装を行ってい	る。			

[DO]

実績 (単位:円)

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第:	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	-			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	国	費	計画額	28, 800, 000	31, 500, 000	31, 500, 000	91, 800, 000	25, 200, 000	25, 200, 000	46, 200, 000	96, 600, 000	46, 200, 000	21, 000, 000	21, 000, 000	33, 600, 000	121, 800, 000	310, 200, 000
		_	予算計上額	28, 800, 000	18, 000, 000	25, 200, 000	72, 000, 000	25, 200, 000	25, 800, 000		51, 000, 000					0	123, 000, 000
			実績額	28, 347, 000	11, 740, 000	6, 095, 000	46, 182, 000	10, 548, 000			10, 548, 000					0	56, 730, 000
	道	費_	計画額				0				0					0	0
		<u> </u>	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債_	計画額	19, 200, 000		21, 000, 000	61, 200, 000	16, 800, 000	16, 800, 000	30, 800, 000	64, 400, 000	30, 800, 000	14, 000, 000	14, 000, 000	22, 400, 000	81, 200, 000	206, 800, 000
投			予算計上額	20, 400, 000	12, 800, 000	16, 800, 000	50, 000, 000	16, 800, 000	17, 200, 000		34, 000, 000					0	84, 000, 000
			実績額	18, 800, 000	26, 600, 000	35, 300, 000	80, 700, 000	29, 900, 000			29, 900, 000					0	110, 600, 000
入	その	他	計画額				0				0					0	0
+			予算計上額				0				0					0	0
2			実績額				0				0					0	0
れ	一般具	財源_	計画額				0				0					0	0
			予算計上額	110, 000		0	130, 000	0			0					0	130, 000
た			実績額	98, 000				32, 000			32, 000					0	266, 000
事	事業費	合計	計画額	48, 000, 000	52, 500, 000	52, 500, 000	153, 000, 000	42, 000, 000	42, 000, 000	77, 000, 000	161, 000, 000	77, 000, 000	35, 000, 000	35, 000, 000	56, 000, 000	203, 000, 000	517, 000, 000
7			予算計上額	49, 310, 000	30, 820, 000	42, 000, 000	122, 130, 000	42, 000, 000	43, 000, 000	0	85, 000, 000	0	0	0	0	0	207, 130, 000
業			実績額	47, 245, 000	38, 390, 000	41, 481, 000	127, 116, 000	40, 480, 000	0	0	40, 480, 000	0	0	0	0	0	167, 596, 000
1881				L=200m	L=80m	L=100m		L=85m	L=90m								
費	事業費予	(音の)		W=7.5+2.5m(×	W=7. 5+2. $5m \times 2$	$W=7.5+2.5m \times 2$		W=7. 5+2. $5m \times 2$	W=7.5+2.5m×2								
o o	申未負了 内容	を見り		2)													
• • •	.,,																
推					W	V /			V								
10						前年度比 136.3%			前年度比 102.4%								
移	前年度予	算と			(事業箇所の	(事業延長の			(事業延長の								
	の比 (増減理			_	減)	増)		額)	増)								
	(2011)	ЕШ/															
				入札による減	一部単独書で計	設計変更により		入札による減									
				NATICE SIN	上していた部分	増額となったが、入札による		7711C & 3/1%									
	実績との				を補助事業で行	が、入札による											
	(増減理	里田)			うこととしたた	減により、トー											
						タルで減こなう たため。											
	(増減理				っこととしたた め (延長20m)	減により、トー タルで減となっ											

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:工事実施率	指標の求め方:実施個所/予定箇所
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:整備率	指標の求め方:整備累計延長/7期総計の計画延長

			もとに設定)	扫标石:笠佩平	//r	0 + 5 = 1 =	11		がいいい					0.45±4.4.5=	I ==		
				第1年次	第1次実施第2年次	3 カ年計画 第 3 年次	中华の土佐	第4年次	第2次実施第5年次	第6年次	B#0+#	第7年次	第8年次	3次実施4カ年計 第9年次	†画 第10年次	B# 4 + F	第 7 期総合計画
				3年度)	(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	(6年度)	7年度)	(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第 8 年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	合 計
		活動指標 1		100	l	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指標	(単位/%)	八根區	100 13. 3	100 23. 3	100 33. 3		100 43. 3	53. 3	69. 3		76. 0	82. 7	89. 3	100.0		
	Jak	成果指標 1 (単位/%)		13. 3	20. 0	27. 4		33. 2	33. 3	09. 3		76. 0	OZ. <i>1</i>	09. 3	100.0		
		事業の達成 (活動指標:	度 をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標:	! をもとに評価)				少し上がっている										
			5性 対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価		0.1-		0.1-	良好である	0.1-		. =			. = 0.15	. =			
事務事業評価	容	理の		た歩のなた付削車が、 横にながする。 を を を を を を を を を で で の で の に の に の に れ の に の に に に に に に に に に に に に に	准を図った。	金)の配当がといった。これでは、大人性響のというでは、大人性響のの日本には、大人性響のの日本には、大人性の日本には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力	お望にのな事が事車整全行る断近いて決い長れ容区よ円ら良たで入場を表表で分り滑れ好につ窓があた。というには、近いて決い長れ容区よ円ら良。につ窓ががたし、なる等がはし、なるで分り滑れ好は金銭できる。	化激整よびつ図金配たののらに偏り車円ら(当このを)をして、 一面滑れ交近を重る歩のなた付削ややの軍長が上価機の軍の大大付削ややの軍の大大付削やでの軍の大大大側で、 大影特別の は、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向	1性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理E 改革の内容 R8、R10)	±	において、安全な	業は、市民や町内かつ円滑な通行を かつ円滑な通行を ることから、「現	図るために、今後	も継続して事業	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	市道改良舗装	事業(単独)			事業期間	令和	3 年度 ~	— 年度			-			
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	5-1-1	他に関連する 基本事業	2-6-3					所管課係	土木課土木係
目的 (何のために実施する のか)	住民に密着した生	活道路の恒久舗	装化を進めることに	こより、安全で忖	央適な生活道路網 <i>の</i>	維持につなげ	る 。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	請負工事により、 う。	、地域に応じた幅	員や構造で路盤改	2良及び舗装と歩道	の設置や排水施記	没等の整備を効果的・効率的に行
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂利道・簡易舗装	道・二次改築を	必要とする市内路線	泉及び道路利用者	š .			成果 (どのような効果が 得られるのか)	道路状況に応じた	た、効果的・効率	的な改良舗装が進	É む。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	自家用車保有台数	数の拡大などに伴っ	て交通量が増大	し、幹線的な役割	を果たす市道に	における交通の円	骨化を図る必要が高	まってきたことか	いら、計画的に改	良舗装を行ってい	る。		

[DO]

実績

					第1次実施	も3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0)			0					0	0
			予算計上額				0)			0					0	0
			実 績 額				0)			0					0	0
	道	費	計画額				0)			0					0	0
			予算計上額				0)			0					0	0
			実 績 額				0)			0					0	0
	地	方 债	計画額	273, 700, 000	407, 900, 000	390, 800, 000	1, 072, 400, 000	435, 600, 000	,,	496, 100, 000	1, 315, 200, 000	575, 200, 000	626, 100, 000	544, 200, 000	639, 900, 000	2, 385, 400, 000	4, 773, 000, 000
投			予算計上額	280, 900, 000	319, 700, 000	364, 800, 000	965, 400, 000	435, 600, 000	524, 300, 000		959, 900, 000					0	1, 925, 300, 000
_			実 績 額	256, 600, 000	284, 900, 000	361, 000, 000	902, 500, 000	412, 400, 000			412, 400, 000					0	1, 314, 900, 000
_	そ	の他	計画額				0)			0					0	0
ŧ			予算計上額				0)			0					0	0
			実 績 額				0)			0					0	0
れ	— A	段 財 源	計画額	15, 700, 000	73, 250, 000	91, 150, 000	180, 100, 000		00, 100, 000	114, 900, 000	176, 063, 000	55, 200, 000	104, 500, 000	124, 600, 000	98, 500, 000	382, 800, 000	738, 963, 000
4			予算計上額	15, 980, 000	32, 466, 000	15, 000, 000	63, 446, 000				1, 320, 000					0	64, 766, 000
た			実 績 額	14, 935, 000	29, 678, 000	801, 000	45, 414, 000	881, 000			881, 000					0	46, 295, 000
事	事業	美費 合計		289, 400, 000	481, 150, 000	481, 950, 000	1, 252, 500, 000	436, 273, 000	, ,	611, 000, 000	1, 491, 263, 000	630, 400, 000	730, 600, 000	668, 800, 000	738, 400, 000	2, 768, 200, 000	5, 511, 963, 000
			予算計上額	296, 880, 000	352, 166, 000	379, 800, 000	1, 028, 846, 000	436, 273, 000	, ,	0	961, 220, 000	0	0	0	0	0	1, 990, 066, 000
業			実 績 額	271, 535, 000	, ,	361, 801, 000	947, 914, 000		•	0	413, 281, 000	0	0	0	0	0	1, 361, 195, 000
費の推	事業	費予算 <i>の</i> 内容		工事:13箇所 委託:6箇所 工事延長: L=950m	工事:14箇所 委託:5箇所 工事延長: L=1,325m	工事:14箇所 委託:5箇所 工事延長: L=1,615m		工事:11箇所 委託:5箇所 工事延長: L=1,970m	工事:12箇所 委託:5箇所 工事延長: L=1,941m								
移	0	度予算と D比較 減理由)	:	-	前年度比118.6% (事業箇所及び 延長の増)	前年度比107.8% (事業延長の 増)		前年度比114.9% (事業延長の 増)	前年度比120.3% (事業箇所及び 物価上昇等によ る増)								
		との比較 減理由)	Ž	事業箇所や延長 等の精査及び入 札による減	事業箇所や延長 等の精査及び入 札による減	入札による減		入札による減									

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:工事実施	拖率		指標の求め方: 事	厚施箇所/予定箇所	Ť								
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:整備率			指標の求め方:暫	B備累計延長/7其	総計の計画延長								
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	1	活動指標 1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Tā āT
	指	活動指標 1 計画値 (単位/%) 実績値	100	100	100		100	100	100	'	100	100	100	100		
	標	成果指標 1 計画値	3. 2		22. 5		32. 1	42. 6	53. 0		65. 4	77. 1	89. 1	100. 0		
		(単位/%) 実績値	3. 1	7. 3	12. 4		18. 7									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容		が進み、安全で 快適な生活道路	高騰に昇いた。 の、じ良安 あになめ、じ良安 が応め、 には安 が成め、 はは を は は は は は は は は は は は は は	高費ど標し道た定なめた。	がに所り良安活のめ、、応を、舗全道図のでいる。、「は、「なり、「なり、「なり、」で変効装で路ら、でいる。「ないと」では、「ないと」では、「ないと」では、「ないと」では、「ないと」では、「ないと」では、「ないと、「ないと」では、「ないと、「ないと、「ないと、「ないと、「ないと、「ないと、「ないと、「ないと	高費ど標し道のしに定という。 に昇ら目い状望が業行よる影成に昇い、標はいやを、所、標はいやを、所な況等らい状望が業行いできる。 を、原でいた者ののでは、民産のの効果、民産切選果	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		業は、市民や町内かつ円滑な通行を		く、市内道路網	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	街路灯(LE	D)整備更新	斯事業		事業期間	令和	3年度 ~ -	– 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	5-1-1	他に関連する 基本事業	2-3-1					所管課係	土木課土木係
目的 (何のために実施する のか)	夜間において道路 また、老朽化に作		を的確に把握するだ を進める。	≿め良好な視覚⅓	環境を確保し、道路	交通の安全、	円滑化を図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	請負工事により、	道路照明設置基	準に準じ街路灯の)設置及び更新を行	ið.	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	主要設置及び更新	折箇所の、街路灯	を必要とする市内路	各線及び道路利用	用者。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	主要箇所に街路灯また、LED化に	Tを設置及び更新 こより、電気の使	することにより、 用量が減り温室効	夜間の交通事故防 対果ガスの排出削減	5止対策や防犯及で ばに繋がる。	が老朽化対策にも繋がる。
事業開始時の状況緯		夜間の道路状況を	を把握するための環	境が確保され、	道路交通の安全・	円滑化が図ら	て、94基のLED れ、LED型を使用す が必要であることか	ることにより、電気	気料の削減、温室	効果ガスの排出削	減が図られた。 ハくこととした。			

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0	20, 000, 000	20, 000, 000		40, 000, 000					0	40, 000, 000
投				予算計上額			20, 000, 000	20, 000, 000	20, 000, 000	20, 000, 000		40, 000, 000					0	60, 000, 000
,~				実績額		12, 300, 000	18, 900, 000	31, 200, 000	19, 300, 000			19, 300, 000					0	50, 500, 000
入	そ	の	他	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
さ				実績額				0				0					0	0
ħ	— 角	设 財	源	計画額	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	39, 000, 000			13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	52, 000, 000	104, 000, 000
				予算計上額	13, 000, 000	13, 000, 000	0	26, 000, 000	0			0					0	26, 000, 000
た				実績額	12, 320, 000	9, 000	75, 000	12, 404, 000	60, 000			60, 000					0	12, 464, 000
-	事業	費合	計	計画額	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	39, 000, 000	20, 000, 000	20, 000, 000	13, 000, 000	53, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	13, 000, 000	52, 000, 000	144, 000, 000
争				予算計上額	13, 000, 000	13, 000, 000	20, 000, 000	46, 000, 000	20, 000, 000	20, 000, 000	0	40, 000, 000	0	0	0	0	0	86, 000, 000
業				実績額	12, 320, 000	12, 309, 000	18, 975, 000	43, 604, 000	19, 360, 000	v	0	19, 360, 000	0	0	0	0	0	62, 964, 000
費 の #		費予算 内容	ſΟ		LED街路灯 12基 (新設 2基 更新 10 基)	LED街路灯 12基 (新設 3基 更新 9基)	LED街路灯 20基 (新設 2基 更新 18基)		LED街路灯 20基 (更新 20 基)	LED街路灯 20基 (更新 20 基)								
移	σ.	度予算 D比較 減理由			-		前年度比153.8% (更新基数の 増) 緊急自然災害防 止対策事業債を 活用しいた。			前年度と同額								
		との比 減理由			入札による減	入札による減	入札による減		入札による減									

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:工事実施	布率		指標の求め方:実	厚施箇所/予定箇所	Ť								
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:設置率			指標の求め方:討	设置累計基数/7其	月総計の計画基数								
				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	1	活動指標 1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Ta aT
	指	活動指標 1 計画値 (単位/%) 実績値	100	100	100		100	100	100	<u> </u>	100	100	100	100		
		成果指標 1 計画値	10				40	50	60		70	80	90	100		
		(単位/%) 実績値	10	20	37		53									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容		を で で が を で が な に で が を に た に に に に に に に に に に に に に	をのでは、 をのでは、 をのでは、 をいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	を で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	た用り減ス図のみをよる判別は に関立に対して、 、のにのでは、 、のは、 、のは、 、のは、 、のは、 、のは、 、のは、 、のは、	を呪れ安図加策たま使よ削ガがに 地環、全らえも、た用り滅ス図加 を強力とした。 を発力とれ、後、いまで を発力とれるが にる電温排れ、 にる電温排れ、 にの果滅と のがに対した。 にの果滅と のがに対した。 ののがにががにががにががにががにががにががにががにががにががにががにががにががに	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、		減が図られている 安全、円滑化を 状のまま継続」 また、緊急自然	るため、今後も継 図るためにも街路	続して使用し、夜 灯の設置は必要と 債などの起債を活	考えるため「現 用し、老朽化に	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	道路施設等バ	トロール事業	ŧ		事業期間	令和:	3 年度 ~ 令	和12年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-1-2	他に関連する 基本事業	5-5-2					所管課係	土木課維持係
目的 (何のために実施する のか)	施設(車道、歩道 ことにより施設の	道、公園施設、街)異常を早期発見	路樹、普通河川、 し対応することで	排水施設など)(、市民の安全確(- の老朽化が進んでし 保に努める。	いるため、パト	ロールを強化する	手段 (どのような方法で 実現するのか)	業務を道路管理	協同組合に一部委	託し、施設の点様	きを行う。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	施設(車道、歩道	道、公園施設、街	路樹、普通河川、	排水施設など)				成果 (どのような効果が 得られるのか)	業務を委託する。 かつ迅速に施設の	ことにより、広範 の異常に対応する	囲(車道、歩道、 ことにより、利用	公園施設、街路樹 月者が安全に施設を	対、普通河川、排z ・利用することが	水施設など)に施設点検を行い、 できる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	近年、施設の老村	巧化が著しく、ま†	≿、管理施設の数	女も多く、職員によ	るパトロール	だけでは、迅速に	施設の異常に対応す	るのが難しい状況	兄である。				

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
₹		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	2, 090, 000	2, 190, 000	2, 290, 000	6, 570, 000	2, 277, 000	2, 397, 000	2, 517, 000		2, 637, 000	2, 757, 000	2, 877, 000	2, 997, 000	11, 268, 000	25, 029, 000
+.		予算計上額	2, 090, 000	2, 090, 000	2, 189, 000	6, 369, 000	2, 277, 000	2, 398, 000		4, 675, 000					0	11, 044, 000
<i>t</i> =		実績額	1, 980, 000	1, 980, 000	2, 057, 000	6, 017, 000	2, 156, 000			2, 156, 000					0	8, 173, 000
事	事業費合計		2, 090, 000	2, 190, 000	2, 290, 000	6, 570, 000		2, 397, 000	2, 517, 000	7, 191, 000	2, 637, 000	2, 757, 000	2, 877, 000	2, 997, 000	11, 268, 000	25, 029, 000
		予算計上額	2, 090, 000	2, 090, 000	2, 189, 000	6, 369, 000		2, 398, 000	0	4, 675, 000	0	0	0	0	0	11, 044, 000
業		実 績 額	1, 980, 000	1, 980, 000	2, 057, 000	6, 017, 000		0	0	2, 156, 000	0	0	0	0	0	8, 173, 000
費の	事業費予算の 内容		パトロール延長 L=1,434km		パトロール延長 L=1,434km			パトロール延長 L=1, 434km								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		-	前年度同額	人件費増加によ る予算増		人件費増加によ る予算増	人件費増加によ る予算増								
	実績との比較 (増減理由)		執行残による減	執行残による減	執行残による減		執行残による減									

Ħ	慄い	推移	• 評価														
77	動指	標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:年間パ	トロール距離		指標の求め方:年	F間パトロール実	施距離								
Æ	果指	標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:施設利用	時の維持管理が原因	で起きた事故件数	指標の求め方:カ	施設利用時の維持	管理が原因で起き	た事故発生件数							
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
			活動指標 1 計画値	1, 434		1, 434		1, 434	1, 434	1, 434	1	1, 434	1, 434	1, 434	4 1, 434		
		指標	(単位/Km) 実績値	1, 434		1, 434		1, 434									
		示	成果指標 1 計画値 (単位/件) 宝績値		<u> </u>	0		0	0	(0	0	(0		
	H		(単位/件) 実績値 事業の達成度		1	0											
			事業の産成及 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっていない										
			事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		ŀ	総合評価				問題がある										
	答	評価内容	総合評価の判 理由または指 の実績値に関す る自己分析	更なるパトロール強化が必要となる。	施こらた同ルる公てて経多て果えり使起ト税といでまトで に置年遊年検と別いま中が、圏はか過くいもな、用き口がはのたし、名良いさ中に、地域のは、地域のでは、一般に対して、地域のでは、一般に対して、地域のでは、一般に対して、地域のでは、一般に対して、地域の、一般に対して、地域の、一般に対して、地域の、一般に対して、地域の、一般に対して、地域の、一般に対し、対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、対し、対し、対し、対し、対し、一般に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	施こらた同ルるま公てて経766を実あとれて、経766を実あいま進この必。た園はか過箇年行施るが、施、らし所度にすが、施、らし所度にすが、施、らし所度に等事事を開発して、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	判 刑 活 達 が し れ 来 は る と が と が と が と が と が に は の ら し に れ の に に に に に に に に に に に に に	施設、公園施設 の老朽化はこれ までと変わらず 進んでいくこと	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		ŀ	 今後の方向性				現状のまま継続										
	H			R5 :				R8 :				R10 :				l .	
	占	善、	Eの判断理由 改革の内容 R8、R10)	劣化は日々進ん	ロールは、いかな でいくため、市民 ため、引き続き実	の方々が安全に利	用してもらうた										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 × ×

(単付:円)

事 業 名	道路修繕事業				事業期間	令和3	3年度 ~ =	3和12年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-1-2	他に関連する 基本事業	5-1-1					所管課係	土木課維持係
目的 (何のために実施する のか)	幹線道路などの3 が出るような路線	交通量が多い路線 泉の舗装を打換え	で、道路の老朽化 、道路交通の利便	による舗装の凹! 性を確保する。	- 凸やひび割れなどに	より車の走行	や人の通行に支降	手段 (どのような方法で 実現するのか)	この事業を行うに 100%、交付税算力	こあたり、公共施 入率 70%) を現況	設等の適正管理に や既設の路盤構成	- 係る地方債(充当 なを考慮し、健全原	当率 90%、交付税 度の低い幹線道路	算入率 30%)と過疎債(充当率 を優先に舗装の修繕工事を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	自動車、歩行者							成果 (どのような効果が 得られるのか)	振動が少なく自動歩道についても	動車を走行するこ 人が安全に通行す	とができるので、 ることができる。	市内外の道路アク	7セスを快適にし	. 地域間交流の促進につながる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成26・27年	年で行った路面性料	犬調査の結果に基	もづいて、車道のオ	ーバーレイエシ	去等による事業の	促進を図り、土木係	で行う歩道改築と	こ一体となった事	業を進める。			

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 51, 000, 000 57, 000, 000 55, 000, 000 方 債 計画額 18, 000, 000 35, 000, 000 47, 000, 000 100, 000, 000 58, 000, 000 109, 000, 000 55, 000, 000 58, 000, 000 225, 000, 00 434, 000, 000 予算計上額 20, 500, 000 20, 500, 00 20, 500, 000 投 19, 420, 00 実 績 額 19, 420, 000 19, 420, 000 計 画 額 0 予算計上額 さ 実績額 一般財源 計画額 2, 000, 000 2, 000, 00 2, 000, 000 50, 000 50, 00 50, 000 予算計上額 実 績 額 20,000 20, 00 20, 000 計画額 436, 000, 000 事業費合計 20, 000, 000 35, 000, 000 47, 000, 000 102, 000, 00 51, 000, 000 58, 000, 000 109, 000, 000 57, 000, 000 55, 000, 000 55, 000, 000 58, 000, 000 225, 000, 00 予算計上額 20, 550, 000 20, 550, 000 20, 550, 000 実 績 額 19, 440, 000 19, 440, 000 19, 440, 000 東1線L=190m 事業費予算なし 事業費予算なし 費 事業費予算の の 内容 推 前年度予算と の比較 (増減理由) 入札による減 実績との比較 (増減理由)

115	保い1	王 199	・評価															
活	動指	票 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:修繕延長	Ex		指標の求め方:値	多繕延長									
成	果指	票 1	(「成果」をもん	とに設定)	指標名:道路修約	善事業進捗率		指標の求め方:	を備延べ延長 / 言	十画延長								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
			舌動指標 1	計画値	190		610		700	720	920)	900	700	700	750		
	井	-	(単位/m)	実績値	190		_		_	40.0	54.0		27.0	70.0		100.0		
	1:	示)	成果指標 1 (単位/%)	計画値実績値	2. 9 2. 9		18. 8		29. 3	40. 2	54. 0		67. 6	78. 2	88. 7	100.0		
	\vdash	2	事業の達成度	_	2. 9	_	_											
			活動指標を															
			事業の成果 成果指標を3	もとに評価)														
		4	事業の効率性	ナス成甲)														
		-	金合評価	の以末)														
		1	では出版		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					初年度は、補修	土木係の市道改	土木係の市道改	土木係の市道改	土木係の市道改	1277	10% (// .	1741-241	1 2 % W	1277	1 0 % W	10000	1141-22	
								良舗装事業(単 独)にて評価。										
					し、車道のみの) - The contract of the contra	,	347 Y = 441 IA 0	247									
					打換え事業を 行ったが、今後													
					は、土木係で行													
- P	事 言	TF			う歩道改築と一 体的に整備を行													
		五			なう方が、事業													
Ž	务 P				の効率性が計れ るため、土木係													
	7	容	総合	評価の判断	の道路事業の中													
4	F		理由の実	または指標 績値に関す	で進めることと する。													
				己分析														
3	業																	
1	平																	
1	15																	
		4	今後の方向性					現状のまま継続										
		R5: 土木係の市道改良舗装事業(単独)にて評価。						<u>-</u>	R8 :		<u> </u>		R10 :			<u>-</u>		
		上 小床が川道収及硼衣争未(半体)にて計画。																
		向性の判断理由 ・ 改革の内容																
			善、改革の内容 R5、R8、R10)															
			(K8 K10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	橋梁長寿命化	修繕事業			事業期間	令和3	3年度 ~	令和12年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	土木課維持係
	道路交通の安全を るコスト縮減を図		これまでの事後的	な対応から計画の	・ 的かつ、予防的な対	才応に転換を図	り、長寿命化に。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	平成24年度に行い維持管理を		命化計画に基づき	き、5年ごとに点枝	食調査を行い健全	度の低い橋を優先的に修繕工事を
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市道の全橋梁							成果 (どのような効果が 得られるのか)	落橋等の事故が	未然に防止され、	道路交通の安全が	『確保される。		
事業開始時の状況緯					度まで10年の計画に たな計画に基づき事			してきたが、制度が	変わり令和5年度の	の実施事業から新	工法の検討が必要	となったため		

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計員	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費			46, 398, 000	64, 950, 000	21, 480, 000	132, 828, 000		31, 800, 000	32, 880, 000	64, 680, 000	46, 200, 000	13, 200, 000	23, 100, 000	27, 600, 000	110, 100, 000	307, 608, 000
			予算計上		48, 300, 000	55, 900, 000	18, 300, 000	122, 500, 000	12, 826, 000	30, 900, 000		43, 726, 000					0	166, 226, 000
			実 績		48, 300, 000	55, 258, 000	15, 851, 000	119, 409, 000	11, 192, 500)		11, 192, 500					0	130, 601, 500
	道	費	計画					0				0					0	0
			予算計上					0				0					0	0
			実 績					0				0					0	0
	地	方 債			31, 900, 000	43, 300, 000		89, 500, 000		21, 200, 000	21, 900, 000		30, 800, 000	8, 800, 000	15, 400, 000	18, 400, 000	73, 400, 000	206, 000, 000
投			予算計上		38, 500, 000	39, 900, 000		92, 400, 000	8, 317, 000	21, 500, 000		29, 817, 000					0	122, 217, 000
_			実 績		35, 700, 000	14, 400, 000	13, 849, 000	63, 949, 000	8, 800, 000			8, 800, 000					0	72, 749, 000
入	そ	の他	計画	額				0				0					0	0
ŧ			予算計上					0				0					0	0
			実 績	額				0				0					0	0
れ	_	般 財 源	計画	額	42, 000		20, 000	62, 000			20, 000	20, 000					0	82, 000
_			予算計上	=額	1, 053, 000	65, 000	38, 000	1, 156, 000	57, 000	79, 000		136, 000					0	1, 292, 000
た			実 績	額	44, 871	22, 444, 484		22, 489, 355	352, 000			352, 000					0	22, 841, 355
事	事業	養 合 計	計画	額	78, 340, 000	108, 250, 000	35, 800, 000	222, 390, 000	0	53, 000, 000	54, 800, 000	107, 800, 000	77, 000, 000	22, 000, 000	38, 500, 000	46, 000, 000	183, 500, 000	513, 690, 000
			予算計上	=額	87, 853, 000	95, 865, 000	32, 338, 000	216, 056, 000	21, 200, 000	52, 479, 000	0	73, 679, 000	0	0	0	0	0	289, 735, 000
業			実 績	額	84, 044, 871	92, 102, 484	29, 700, 000	205, 847, 355	20, 344, 500	0	0	20, 344, 500	0	0	0	0	0	226, 191, 855
費の推		費予算の 内容		,	橋梁点検12橋 橋梁修繕工事1 橋	設計委託1橋 橋梁点検70橋 橋梁修繕工事1 橋梁長寿命化計 画策定	橋梁修繕工事2		設計委託2橋	設計委託1橋 橋梁修繕工事1 橋								
移	(度予算と の比較 記減理由)			-	事業費の増	事業費の減		事業費の減	事業費の増								
	実績(増	をの比較 割減理由)			入札による減	入札による減	入札による減		入札による減									

活動	指標 1	(「手段」を	もとに設定)	指標名:修繕橋	2数		指標の求め方:傾	§繕橋梁数									
成果	指標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:計画期間	間における修繕橋	梁進捗率	指標の求め方:修	移繕橋梁延べ数 /	修繕計画数								
				tota e ta e ta		3 力年計画		Mr. a. Ir sle		3 力年計画	T			3次実施4力年計		1	第7期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標:	計画値	1	0	2		0	3	(0+1)	0	1	1	2	2		
	指標	(単位/橋	八根區	1	0	2		0				50.0	20.7	00.0	400.0		
	伝	成果指標 位 (単位/%)		8. 3 7. 1	8. 3 7. 1			25. 0 25. 0	50. 0	50.	0	58. 3	66. 7	83. 8	100.0		
		事業の達成	龙度	7. 1	7.1	20.0	達成されている	20.0									
		(活動指標 事業の成身	をもとに評価) ^艮														
		(成果指標 事業の効率	をもとに評価)				変わらない										
			対する成果)				変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理 の	合評価の判断 由または指標 実績値に関す 自己分析	補れ業がた実制りは討る。 も画める。年ま更工法と を、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前年同様補助金 が要望れ、 は事業が は事業が をできれる をできれる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をでき	前が保りこうでは、おいては、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	補助2の制度に登りない。 おり と まない おり という いっという はいっという はいいっという はいっという はいいっという いっという はいいっという いっという いっといい いっといい いっといい いっといい いっといい いい いっといい いっといい いっといい いい いい いい いい いっといい いっといい いい いい いい いい いっといい いい	前が保りこ今づし 有要さ事と後きて 開望れ、業で計業を をで計業く は、まで計業くこ	- IVIII -		T) (() () () () () () () () ()			- IVI		TOWNED.	
		今後の方向	1性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	容	業が実施されるが は増額となってし	が、新工法の検討 いく傾向となる。	和6年度より計画 が盛り込ま全れたこ しかし、安全な交 であるため「現状	とにより事業費 通を確保するた	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	除排雪事業				事業期間	令和 3	3年度 ~	令和12年度							
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-1-3	他に関連す 基本事業	る	_	_				所管課係	土木課維持係
目的 (何のために実施するのか)	冬期間の交通障害	害をなくし市民の	安全な生活を守る。					手段 (どのような方) 実現するのか)	深夜の11 を機械並	時時点で	で、早朝 7 時頃に 力で行う。	こ10cm程度以」	上積雪すると予想で	される場合、業者	委託により道路及び歩道の除排雪
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市道及び生活道路	各						成果 (どのような効! 得られるのか)	交通障害	を防止っ	でき、冬期間の市	市民の生活道路が研	在保される。		
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成20年度より	砂川道路管理協同組	合に委託し、コ	コストの縮減及び業	務の効率化を	図っている。								

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国 費 計画 額	[0				0					0	0
予算計上額	[0				0					0	0
実績を	22, 336, 000	49, 220, 000	48, 996, 000	120, 552, 000	21, 724, 000			21, 724, 000					0	142, 276, 000
道費計画物	5			0				0					0	0
予算計上額	1			0				0					0	0
実績を	5			0				0					0	0
地 方 債 計 画 8	5			0				0					0	0
投予算計上額	5			0				0					0	0
実績を				0				0					0	0
入その他計画物	•			0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績を	5			0				0					0	0
れ 一般財源 計画 額	298, 397, 000	300, 000, 000	300, 000, 000	898, 397, 000	270, 196, 000	270, 196, 000	270, 196, 000	810, 588, 000	270, 196, 000	27, 019, 600	270, 196, 000	270, 196, 000	837, 607, 600	2, 546, 592, 600
予算計上額	298, 397, 000	248, 397, 000	259, 501, 000	806, 295, 000	270, 196, 000	289, 978, 000		560, 174, 000					0	1, 366, 469, 000
た実績を	327, 539, 333	335, 601, 588	303, 557, 660	966, 698, 581	298, 565, 549			298, 565, 549					0	1, 265, 264, 130
事業費合計 計画 額	298, 397, 000	300, 000, 000	300, 000, 000	898, 397, 000	270, 196, 000	270, 196, 000	270, 196, 000	810, 588, 000	270, 196, 000	27, 019, 600	270, 196, 000	270, 196, 000	837, 607, 600	2, 546, 592, 600
予算計上額	298, 397, 000	248, 397, 000	259, 501, 000	806, 295, 000	270, 196, 000	289, 978, 000	0	560, 174, 000	0	0	0	0	0	1, 366, 469, 000
業 実績 額		, ,	, ,	1, 087, 250, 581		0	0	320, 289, 549	0	0	0	0	0	1, 407, 540, 130
費	除排雪等委託料	除排雪等委託料	除排雪等委託料		除排雪等委託料	除排雪等委託料								
事業費予算の														
の内容														
144														
推		世帯帯の減	1. 供弗克姆约=		1	1. // 弗卜姆业本								
移		排雪費の減	人件費や燃料費 の増		人件費や燃料費 の増	人件質や燃料質 の増								
前年度予算との比較			V74		07.4	07-E								
(増減理由)														
	降雪量の増	降雪量の増	降雪量の増		排雪作業の増									
実績との比較		I												
(増減理由)											l			
											l			

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:除排雪委託費	指標の求め方:その年の降雪量の多さによるところもあるので計画値は設定せず実績管理のみとする
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:道路の通行を確保した路線延長	指標の求め方:除雪路線延長
	第 1 次字体 2 九左計画	なりか中性 2 カケシ 西 なりか中性 4 カケシ 西

				第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
	_	l ! at — te	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標 1 計画値 (単位/千円) 実績値	298, 397 349, 875		300, 000 352, 553		320, 289	300, 000	300, 000		300, 000	300, 000	300, 000	300, 000		
	標	成果指標 1 計画値	233		233		233	233	233		233	233	233	233		
		(単位/Km) 実績値	233	233	233		235									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容		だのこ所対き起円おた取しののこ所対き起円おた取しのでなる。 ・ 実も通ず通確雪が、増生なり障市行保及が増全用でするではでするは排表では増全用が雪がは、費と除耕たによります。	はが 動 が ま が ま は が は が と は に に に に に に に に に に に に に	7mを超えた。 最大の を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	判人なあび搬重率業出好た 断件どる雪人のを来で。 まだ、の起除うたる は、気がしているという。 は、無何路な保たったの。 は、無何路な保た。 な行たる。 ないである。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という	て車等ないは、 あ通慮の考れで を を を を を を を を を を を を を の と の き の き の き の き の き の き の き の き の き	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	
		A // A + + bl				70.15 6 + + 444.4+										
		今後の方向性	DE .			現状のまま継続	D0 .				R10 :					
	改善、		降雪量にもよるが 行う人材が不足り	コ除雪が増えておいく が継続的に必要といいでいく傾向でも していく傾向でも 骨な通「そを確保す 継続」とした。	考えている。また あり、人材確保が	所の確保等は、 、除排雪作業を 課題となってい	R8 :				K1U:					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

第3次実施4力年計画

(単位:円)

事 業 名	雪寒機械更新	事業			事業期間	令和3	3年度 ~	令和12年度					1	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	5-1-3	他に関連する基本事業	5					所管課係	土木課維持係
目的 (何のために実施するのか)	冬季間の交通の多	そ全を図るための	除雪事業で使用す	る除雪機械(直	営車両)を計画的に	更新する。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	老朽化した除雪板	機械を国庫補助事	業を利用して、計	画的に更新する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	補助事業の対象と	となる除雪機械 (直営車両)					成果 (どのような効果が 得られるのか)	除雪事業の委託に	に車両経費の安価	な直営車両を使用	目することにより引	委託費が軽減され る	5.
事業開始時の状況緯	業開始時の状況・これまでの経 補助対象基準により購入から15年以上経過した車両につき、更新要望を随時行っている。													

第2次実施3カ年計画

[DO]

実績

第1次実施3力年計画

第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 16, 000, 000 16, 000, 00 16, 000, 000 予算計上額 実 績 額 12, 849, 000 12, 849, 000 5, 896, 000 5, 896, 000 18, 745, 000 計画額 予算計上額 実 績 額 5, 600, 000 方 計画額 5, 600, 00 5, 600, 000 予算計上額 投 21, 000, 000 実 績 額 24, 100, 000 21, 000, 000 24, 100, 000 45, 100, 000 計画額 0 予算計上額 さ 実績額 一般財源 計画額 3, 400, 000 3, 400, 00 3, 400, 000 予算計上額 実 績 額 66,000 66, 000 603, 116 603, 116 669, 116 計画額 事業費合計 25, 000, 00 25, 000, 00 25, 000, 000 予算計上額 実 績 額 37, 015, 000 37, 015, 000 27, 499, 116 27, 499, 116 64, 514, 116 コータリ除雪車 1 除雪ドーザ 1 台国庫補助の結 費 _ 国庫補助の結果 果が出るのを 事業費予算の の 待ったため当初 予算0 が出るのを待っ 内容 たため当初予算 推 前年度予算と の比較 (増減理由) 国庫補助の対象と 国庫補助の対象 なったことによる となったことに 実績との比較 増(6月補正: よる増(6月補 正:30,800千 円、3月補正△ 3,300千円) 53,757千円、3月 (増減理由) 補正△16,742千

ŧ	自標の	推移	・評価														
ÿ	舌動指	標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:各年度	きの機械更新台数		指標の求め方: 4	5年度の機械更新	台数								
J.	戊果指	標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:各年度	度の機械更新率		指標の求め方: 往	各年度の機械更新	台数 / 各年度の	機械更新計画台数	Į.						
					第 1 次実施	63カ年計画			第2次実施	3 カ年計画				3次実施4カ年記	计画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 計画 (単位/台) 実約		1 — — 1		_				-						
		標	成果指標 1 計画			_	_	_		_	-			_			
			(単位/%) 実系 事業の達成度 (活動指標をもとに評		00		達成されている										
		Ī	の動物線をもとに計事業の成果 (成果指標をもとに評				変わらない										
		Ī	事業の効率性				変わらない										
		F					極めて良好である										
	事業の効率性 (事業費に対する成果) 総合評価			着	自己分析:	判断理由: 当初の計画通り 車両の更新は、 進んでいるため 「極めて良好で	両を除雪作業に 支障をきたすこ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		ŀ	 今後の方向性				現状のまま継続										
	-			R5 :	Mante de amite - 1 - 1	(- Tark) - 1 (1)		R8 :				R10 :				U	
ı				両の不足は生し	道路管理協同組合 こていないが、市内 こ場合によっては増 いた。	の除排雪作業に影	ど響が出ないよう										
	改	養、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)														